

## なごみ with 児童期からなごみを利用 小林裕真さん

以前は放課後デイサービス「タイムケア」を利用され、現在は夢花工房とグループホームを利用中の小林さんにインタビューしました。でんでん虫などで音楽活動やヘルパーを活用して趣味を充実させている活動的な方です。

- 普段の仕事は？** 買物（買物代行作業）や掃除とか。難しいこともある。たまに絵を描いたり（アート展等への出展準備）してる。好きな色を使って描けて楽しい！
- 休日はどうすごしてる？** 新百合いったり、友達とあったり。



大切にしているポケモン ▶

この前ヘルパーさんと麻生まつりって来た。  
●**仕事大変でしょ？** そうでもない。ホームに帰ってゆっくり休んでる。ゲームしたり、TVみてるから大丈夫。  
●**趣味や楽しみはある？** ポケモン好き。大切なぬいぐるみがある。かわいいの好き。部屋をきれいにして、好きなポケモンに囲まれた生活。入居当初は緊張したグループホームの生活でしたが、ポケモンのおかげでリラックス出来ました、と小林さんが上手にグループホームでの新しい生活に慣れていった様子をお聞きすることが出来ました。緊張をほぐしてくれたポケモンのぬいぐるみを持ちながら、笑顔で話を聞かせてくれた小林さん。ありがとうございました。（文章・聞き取り：進藤）



▲アート制作中の小林裕真さん

## けいじばん

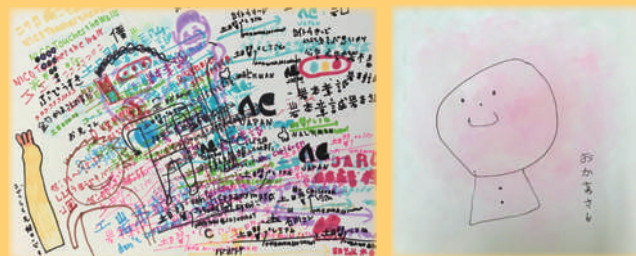
### ■本部より

『令和5年1月21日(土)法人実践報告会が開催されます！』  
法人全体の職員が参加する機会となる法人実践報告会です。今年度のテーマは「法人理念に基づいた保育と支援の実践」。ZOOMでの開催となります。各事業部より代表者の発表のあと、グループディスカッションを行います。同じなごみ福祉会に勤めていながら日頃なかなか会えない方々とお話するのが楽しみです。発表タイトル「あたりまえの生き生き生活(地域療育事業部)」 「ライフコースに合わせた支援(ここから事業部)」など。9時から12時30分を予定しています。

### ■夢花事業部より

夢花工房では日常的にアート活動に取り組んでいます。作品の展示機会として夢花アートワーク展を2月11日土曜日に開催します。今回は、あゆ工房のみなさんの作品も展示。前回よりもさらに個性あふれるアート展になりそうです♪

コロナ対策を整えてご来場お待ちしております。  
\*駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。



▲夢花工房の作品から(左)えびフライ(右)お母さん

### ■寄付金報告

令和4年11月、下記の方からご寄附を頂きました。

寄附金者氏名	寄附金額	寄附使途
Happy Notes 代表 岩崎様	120,000円	地域療育事業部

心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 2023 Jan. 1

## 社会福祉法人なごみ福祉会

# なごみだより

なごみ福祉会のコミュニティマガジン

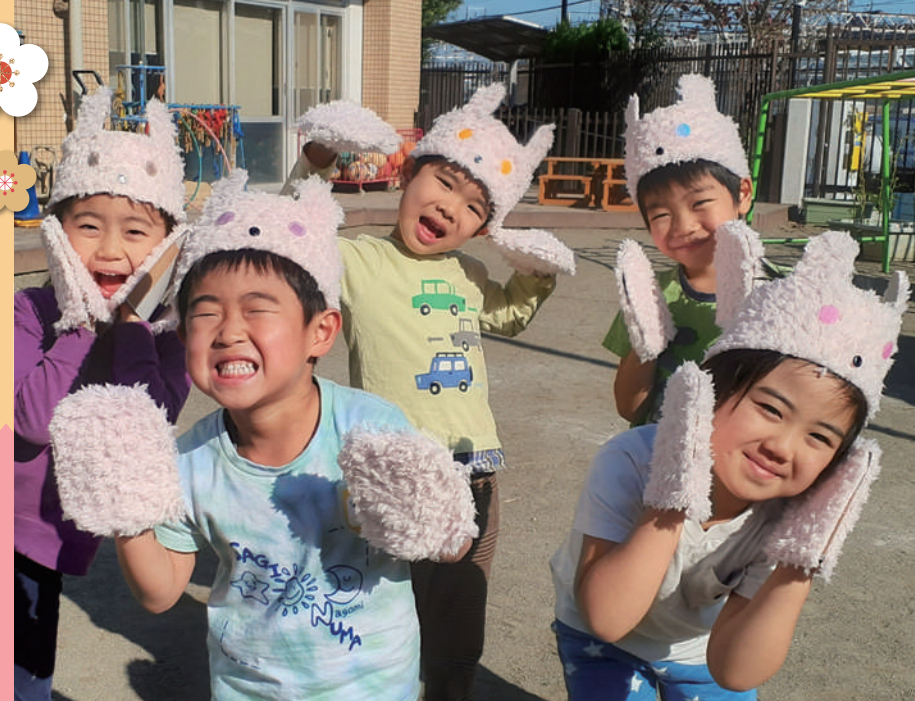
no.31

発行：社会福祉法人なごみ福祉会 なごみだより編集委員会  
川崎市多摩区菅稻田堤3-9-2 TEL 044-944-2022

web 「なごみ福祉」で検索 www.nagomi-fukushikai.jp

editor

なごみだより編集委員会 ◆編集委員長 / 渡邊 (■地域療育事業部)  
■保育部 / 山梨 ■せせらぎ事業部 / 千頭 ■夢花事業部 / 進藤  
■ここから事業部 / 板橋 ■デザインアドバイザー / 寺内



▲あゆ工房さんありがとう！ピョンピョン飛躍の一年になりますように！さぎ沼なごみ保育園の子どもたち

## 新年のご挨拶

## 変わらぬ理念を時代の中で形に

理事長 飯島 克巳

昨年は、従来のコロナ禍に加え、2月からのウクライナでの戦禍の拡大、それに伴うエネルギーや食料を巡る動き、国内の事件等の動きが加わり、世の中が激しく動いていることがひしひしと感じられる年でした。加えて社会福祉の動きにおいても、少子化やコロナ禍により全国的に保育所の定員割れが生じたり、2年後の報酬改訂に合わせて障害福祉制度の改正が検討されています。これらは今後当法人の活動に大きな影響を持つ可能性があります。他方、法人では川崎市多摩区中野島地区に、令和6年4月開設予定の新施設設置が決定しました。内外の様々な動きの中で法人としての活動の基準は迂遠ではありますが法人の理念にあります。あらためて法人の理念について皆さんとともに考えてみたいと思います。

なごみ福祉会の歴史を振り返れば、1981年に現在のなごみ保育園が設置された後、1982年に「親と子の寺子屋でんでん虫の家」、1983年に学童保育を実施する「なごみ学童ホール」の設置と『40周年史』に記載があります。前者は保育園に入園した障害のある子の個別ケアと卒園した子のアフターフォローのため、後者は卒園児の放課後生活の保障のためでした。なごみ保育園ができた当時は障害のある子は保育園だけではなく、学童保育、地域の学校にも入れてもらえなかったという課題があったのです。

しかし、その後の国の施策は、就学後の障害のある子とない子との進路を明確に分離し、充実させる方向に進みました。学校は「特別支援教育」として発展し、放課後の過ごす場は「放課後等デイサービス」として事業化されました。「就学猶予」の時代に比べれば、行くべき学校や家庭以外で過ごす場ができて、これは大きな進歩です。しかしながら…

いま国は「障害の有無によって分け隔てられることなく…共生する社会を実現する」(障害者基本法第1条)と方針を

定めて、施策を進めています。例えば、年々障害者雇用は進展しています。しかし、障害者の雇用人数は増えているにも関わらず、その時々法定雇用率は達成されたことがありません。それは退職者がかなりいるためとされています。一般の職場は福祉の現場と同じように障害のある人たちの理解しようという人たちばかりではありません。同じように電車の乗客、スーパーの店員や客、道路ですれ違う人等々、障害のある人と接したことがない人は大半でしょう。そのような一般の人たちに理解をもってもらうことが必要になります。そこが変わらないと、障害福祉サービスだけが量的に拡大しても法人の理念が目指す「共に生き、共に育つ」地域社会には届かないでしょう。

法人設立20周年を記念して作成されたビデオ『あるがまま』には、「障害があっても、地域の中で当たり前暮らしたい。ありのままに認めてもらうにはどうしたらいいかと考えました。そうだ。できるだけ、小さい時から障害のある子もいない子と一緒に遊ぶ。すると福祉も子供も共に育つのではないかな。うん、いい考えだ。」というナレーションがあります。私はこのナレーションの意味は今もあると思っています。今年の9月、国連は日本の分離教育については是正するよう勧告を出しています(朝日新聞2022年9月14日)。ただ一緒にすれば良いと言うことではありません。なごみの保育園でも園を超えて保育士が研修し、障害の有無に関わらず良い保育を目指しています。統合保育というゴールを決めて内容の充実を図っています。加えて、国がしっかり予算を付ける必要もあるでしょう。

法人の保育園で長年実践していることに加えて、障害福祉分野でも利用者とともに地域と出会う試みを積み重ねています。国が進める方向を後押しするために、なごみ福祉会の職員の皆さんには今後も利用者さんと地域の関係を意識し、力を発揮してほしいところです。地域の皆様、関係者の皆様にも協力をいただきながら不透明な時代を進んでいきたいと思っております。今年もよろしくお祈りします。

## はなえみ 花笑の会から皆様へお願い

新しい年を迎えて、「花笑の会」から皆様へ  
社会福祉法人なごみ福祉会後援会「花笑の会」会長 志岐チエ子

明けましておめでとうございます。また、新しい年を迎えました。いつも私たち「花笑の会」にご支援、ご協力をいただきましてありがとうございます。何年もバザーも出来ないでいるのですが、バザーの様子を見て、早くこのようなバザーを、楽しくやりたいなと思っています。その時はぜひ多くの皆さんにご協力を戴いて。そして、会の運営にも、負担のかからない参加の仕方でも多くの方にご協力を戴きたいなと思っています。

今年もまた、お願いの年明けになりました。皆様の参加を心からお願いいたします。最後になりましたが、皆様にとって、今年が良い年になりますように。



▲花笑の会のみなさん

### 花笑の会 会費

#### 【年会費】

個人：1口 2,000円 団体：1口 5,000円  
会費は一年更新。入会・退会は自由です。  
口数に上限はありません

### 会費振り込み先

#### 【銀行ご利用の場合】

川崎信用金庫 長沢支店  
(普) 0185019 花笑の会会長志岐チエ子

#### 【郵便局ご利用の場合】

同封の振込用紙をお使い頂くか  
下記の振替口座までご入金下さい  
振替番号 00220-7-71044  
加入者名 花笑の会

花笑の会へのご連絡は、なごみ福祉会法人本部までお願いします



# なごみトピックス

●各事業部からの活動報告などお知らせ

## せせらぎ事業部

### ねりんピックかながわ2022

コロナ禍で自粛をしていた焼き菓子の出店販売が徐々にできるようになり、2022年11月12日、13日に神奈川県で開催された全国健康福祉祭(愛称:ねりんピック)での販売会に参加しました。実行委員会の方から多摩川あゆ工房の焼き菓子販売をしませんかと問い合わせがあったのが7月でした。新型コロナウイルスの不安もありましたが、今までの多摩川あゆ工房の実績から声かけられたことはとても嬉しい限りでした。「ねりんピック」って何だろうから始まり、どのような規模で行われているかも分からず…でも利用者さ

んが頑張って作った焼き菓子を多くの方に食べてもらおうと参加しました。少しでも新型コロナウイルスの感染リスクを下げるため、残念ながら職員のみで販売でしたが、マスクをしながら笑顔で接客。天候にも恵まれ、出店が終わるまでは雨が降らずに販売することが出来ました。たくさんのお客様に焼き菓子を販売出来たことを利用者さんに伝えたと、皆さんとても喜んでいました。まだまだコロナ対策は気が抜けませんが、今年は色々な場所の出店に参加したいと思います。 千頭



▲マリンタワーが見える山下公園での販売

## 地域療育事業部

### 3年ぶりのでんでん虫クリスマス会

12月10日あゆ工房のホールで、第39回でんでん虫クリスマス会を開催しました。三つの支援先施設、アルデンテ、メイクフレンズ、夢花ドリームフラワーズから34名の方々に集まっていただき、日頃の音楽活動の様子を発表し、聞き合う形で行いました。クリスマスソングでスタートすると、早速みなさんの手拍子と歌声が沸き起こります。力強い合奏、華やかに会場を巻き込むダンス、魅力的な歌声、軽快なタイコのリズム、どの曲にも会場からの笑顔と手拍子と声援が加わり、ステージの皆さんはさらに輝きを増して生き生きと演奏しました。最後はみんなでダンス!歌!歓声!ジャンプ!そして静かに歌い、あつという間の一時間半。みんなで集まって、普段の活動以上に嬉しく楽しい特別な時

間となりました。参加された皆さんは、よかったね、楽しかったね、と笑顔で語り合いながら、「でんでん虫サンタ」から少し照れるようにプレゼント(レゼルさんのクッキー)を受け取って帰られました。以前のように大勢のお客様にも来ていただける会ができることを願いながら、3年ぶりのクリスマス会を終えることができました。 金澤



▲はじける!おどる!クリスマス!

## 保育部

### 防災週間 - みんなで防災について考えよう -



▲浸水被害時の園舎前

なごみ保育園では災害に備え、毎月様々な想定で避難訓練・防災集会を行っています。特に2019年10月、台風19号による床上浸水の被害を受けてからは、想像を遥かに超えて起こる災害に対し、より一層考えるようになりました。

あの日から3年経った今年は「みんなで防災について考えよう」と防災週間を実施しました。週間では、地震・火事を想定したガラス飛散・煙・倒壊・簡易トイレ体験コーナーをはじめ、防災ゲームや竜巻の話を実施。年長児クラスは、『町の中』と『部屋の中』で地震が起きた時の危険な場所を子

もたちで考え話し合う時間を作りました。「お店のガラスが割れる」だけでなく「留めておいたら、倒れない」と対策を考える子。私たちが思っている以上に考えているのだなと感じました。また職員研修として水害被災時の資料をもとに当時のことを振り返りました。拭いても、拭いても泥が浮き上がり白くなる床。そしてたくさんの方の温かい支援。あの日の光景は風化させてはいけません。

今後伝え、活かしていきたいと強く思い返す機会となりました。今後も防災について子ども・保護者・職員とみんなで考えていきたいと思えます。 高橋



▲地震が起きたらどこが危ない?年長児の話し合い

## ここから事業部

### グループホーム旅行



▲みなさん懐かしのおもちゃに大興奮!

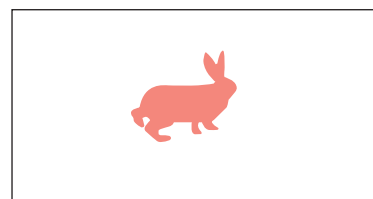
毎年恒例のグループホーム旅行。七夕の7月7日から8日にかけて、益子焼で有名な栃木県益子~茨城県大洗までを巡りました。まず最初に訪れたのは壬生町おもちゃ博物館。実物大のガンダムがお出迎え。なつかしの玩具達が立ち並び、「なつかし」「これ持ってた!」など、一同(職員含めて)大興奮でした。益子焼の直売所では「ホームで使うんだ」と言って湯呑やお茶

碗を購入されている利用者さん・職員の姿がちらほら。割らないように大事に使いましょ♪宿泊先のホテルは滝の流れる温泉!喜び勇んで3回入った人もいたとか。私は同室の利用者さん達と温泉卓球を楽しみました。2日目は大洗マリンタワーで「あらいっぺ」という可愛い?ゆるキャラに出会ったり、めんたいパークで明太子工場を見学したり。売店で売られていためんたいソフトクリーム、癖になるお味でハマる人続出。お昼には魚市場の上にある食堂で、豪華なお刺身盛りを頂きました。弾丸旅行で盛り盛りのスケジュールだったのに、帰りのバスでも皆さん話に花が咲いています。「来年はどこかな?」なんて声も。コロナ禍でなかなか見通しが効かない状況ですが、みんなで一緒に楽しめる貴重な時間、来年もどうか行けますように。なんて、ホテルの笹の葉短冊に願いを記しておきました。 青木

## 夢花事業部

### オーリーブで江の島日帰り旅行♪

9月16日(金)、海鮮料理と新江ノ島水族館のコースで日帰り旅行に行きました。当日はまだまだ残暑が厳しくて、海水浴に行きたいくらいの陽気でした。

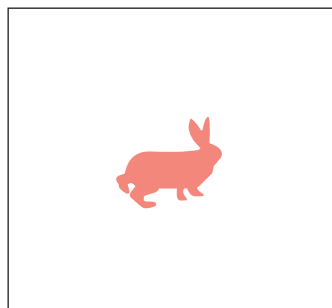


▲江の島を眺めていい景色!

昼食は素敵なお部屋で海の幸を堪能。その後はキラキラした海とサーファーを眺めながらのドライブ。程よい渋滞のおかげか、江ノ電が前から来た時には皆さん嬉しそうに歓声をあげていました。イルカショーにはタッチの差で間に合いませんでしたが、大満足の1日になりました。 牛根

### 「Autumn Festa2022」 in 長沢諏訪社

11月5日(土)6日(日)は諏訪神社でオタムフェスタというイベントがありました。天候にも恵まれ小さな子どもを連れてきたパパ・ママそして子どもたちがたくさん来てくれました。



▲オリジナルグッズを並べて出店



今回、初めての参加でしたが「これ使ってるよ」と声をかけてくださる方が多数いらっしゃいました。嬉しいですね。特に木のおもちゃクジは2日間とも完売で、大盛況でした。 酒井

なごみ福社会 つながり事業紹介

寅年に続けて卯年の今年はおまけのお面をせせらぎ事業部が作ってさぎ沼なごみ保育園にお届け! 保育園の子どもたちが可愛くポーズしてくれました!

■あゆ工房

このなごみだよりの表紙を飾るウサギのお面と手袋を多摩川あゆ工房の軽作業班の利用者さんが職員と一緒に作成しました。さぎ沼なごみ保育園にお届けに行き、園児に渡した際に大きな声で「ありがとう」と言ってもらいました♪作成した利用者さん、その言葉を聞きニコニコしていました。渡した後に

お面をすぐに顔につけたり、手袋をはめたりと、とても微笑ましい場面が見れて癒やされました。 千頭

### ■さぎ沼なごみ保育園

あゆ工房さんが保育園にうさぎの変身セットを届けてくれました。モフモフした布で作られた耳と手に「かわいい」「きもちいい」と子ども達はとても嬉しそうに、順番にうさぎになり切っていました!

さぎ沼なごみ保育園 渡邊



▲どう似合(う)でしょ?うさぎになってハイ!ポーズ